

感性の探索

Investigation into Kansei

氏名
Name

Group A

佐藤祐士郎
Yushiro Sato
瀧川貴恵
Kie Takikawa

小林秀輝
Hideki Kobayashi
鈴木宏太郎
Kotaro Suzuki

Group B

野口佳子
Noguchi Yoshiko
島田純一
Junichi Shimada

鈴木雄大
Yudai Suzuki
多田啓崇
Hirotaka Tada

井野田紋佳
Ayaka Inoda
出口麻衣子
Maiko Deguchi

Group A

興味による コミュニケーションメッセージの違いの研究

Differences in communication messages
due to the degree of interest.

概要 Outline

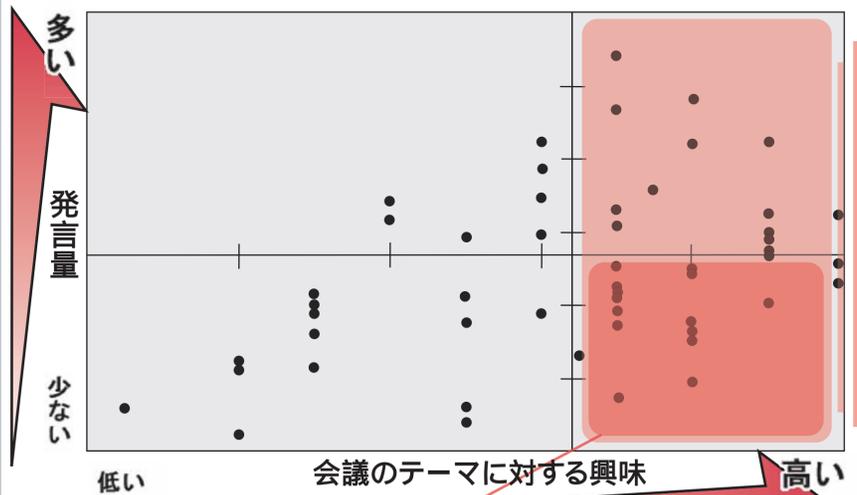
人は興味の有無によって、異なるコミュニケーションメッセージを発信している。私達はそれらの違いを分析し、それを活用するための提案を考えた。

People send different communication messages depending on the degree of the interest. We analyzed these differences, and discussed practical use of them.

実験とその結果・考察 Experiment, Result and Consideration

興味のある話題、興味のない話題という条件のもと、会議形式の実験を行った。
We observed participants discussing interesting and uninteresting topics.

会議では、テーマに興味を持っているが、発言量の少ない人がある



「会議のテーマに興味がある」が「発言量の少ない」人を上手く活かすことで、会議を活性化できる!
If we encourage members in this category to speak, the discussion will become more active!

会議のテーマに興味を持っている人の特徴

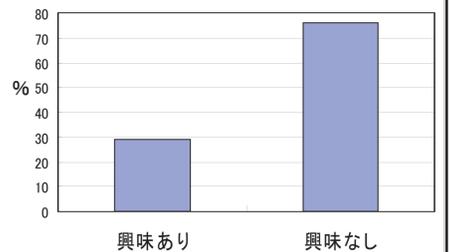
発言直前に、
予備動作を行わない
No preliminary movements.

興味を持っていない人が
予備動作を伴って発言するのに対し、興味を持っている人は、予備動作を伴わずに発言する。

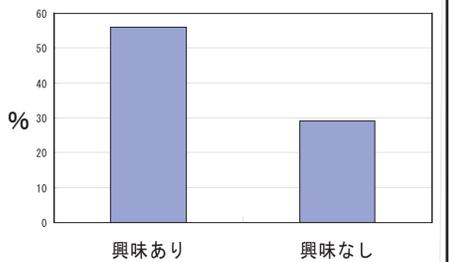
創造的発言をする
creative statements.

興味を持っている人は
知識からアイデアを出して発言するのに対し、興味を持っていない人は知識のみを発言する。

興味による予備動作を行う確率の違い



発言全体に占める創造的発言の割合



Group B

快適なスタジオの環境を考える

Making the environment of
Fun studio comfortable.

概要 Outline

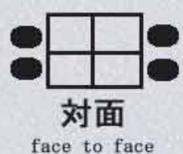
未来大学の環境を、利用者がどのように感じているかを調査・分析し、より快適な未来大学の環境を構築しようと考えた。

We investigated and analyzed how the users feel the environment of "Future University" and we are going to construct the environment of this university more comfortable.

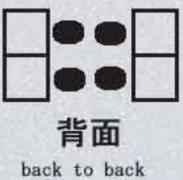
挙げられた問題点と解決策 Enumerated problems and solutions



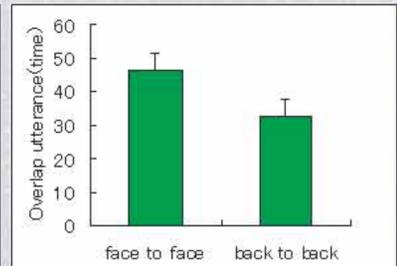
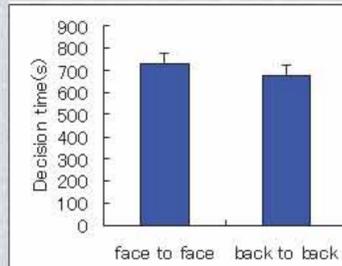
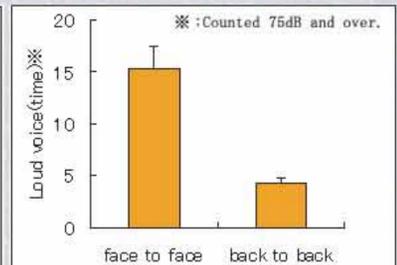
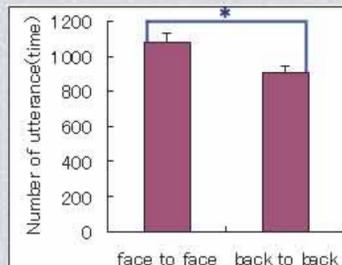
考察



話し合いは活発だが、騒音が出てしまうと考えられる。コミュニケーションに適した配置
The discussion is active. The noise occurs. Arrangement for communications.



話し合いは無駄がなく迅速であり、騒音はあまり出ないと考えられる。能率的に作業を行える配置
The discussion is efficient & prompt. The noise doesn't occur. Arrangement to work efficiently



2つの配置の使い分けによって、より快適な環境が構築される!?

Using two arrangements properly may make a better environment.